

与那原町東浜自治会防犯パトロール隊（沖縄県）

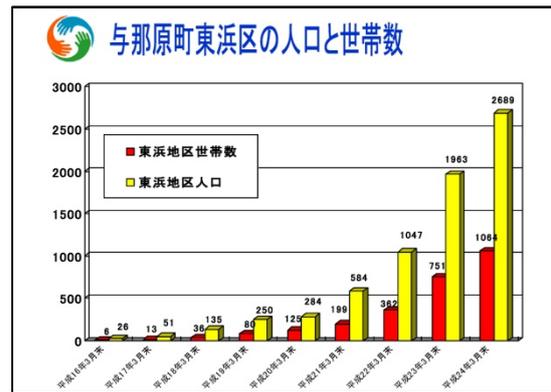
与那原町の概要

私たちは沖縄県からやってまいりました与那原町東浜自治会防犯パトロール隊、防犯部長の伊是名良文です。

与那原町は、沖縄本島の南部に位置し、那覇市から東へ車で20分ほどの距離にあり、中部地区への交通の利便もよく、ちょうど扇の要のようになっています。町域を広げるため、マリンタウンプロジェクトという埋め立て工事を展開し、その埋め立てで誕生した街が東浜地区です。東浜地区では、平成16年3月末、6世帯26人だったのが、平成24年3月末では1,064世帯、2,689人となりました。東浜地区の発展により、与那原町の人口は前年度と比較して3.3%の伸び率となりました。これは沖縄県内で最も高い伸び率となっています。



急激な人口増加に伴い、防犯・防災対策が東浜地区の課題になりました。



パトロール隊の概要

東浜自治会防犯パトロール隊は、平成20年5月に発足しました。現在、隊員は30人で、平均年齢は45歳です。東浜自治会防犯パトロールの特徴としては、①現役世代が多く参加していること（「現役世代の参加」）②地元東浜地区内にある企業から物心両面の支援をいただくと同時に、防犯活動へも参加していただいていること（「地元企業の支援」「予算の獲得方策」）③交通安全や防災活動も連携していること（「防災活動への取組」）が挙げられます。

東浜自治会防犯パトロール隊

1 隊員数	30人(平均年齢 45歳)
2 発 足	平成20年5月
3 活動地域	東浜全域

東浜自治会は、警察署から現役世代の参加促進を図る環境づくり支援事業の県内唯一の指定団体として、防犯パトロール用装備品の貸与を受け、防犯活動に活用しています。

企業からの支援

地元東浜地域内の74の企業に賛助会員として入会していただいております。防犯パトロール隊の活動にも積極的に参加していただいております。企業が自治会と一緒に活動するのは、極めて例が少ないと伺っており、特徴の一つになっているかと思っております。防犯パトロールに使用している車両も東浜地区にある企業から寄贈されたものです。

防犯活動の予算獲得方策

予算の獲得方策としては、一般世帯会員の増加、賛助会員の増加、与那原町役場からの委託業務の請負による資金の造成等があります。平成24年度予算は465万円ですが、その内訳は、一般世帯会員178万2,000円、賛助会員171万6,000円、町補助金13万8,000円、委託事業費48万円、繰越金53万4,000円、合計465万円となっています。

防災活動への取組

東浜自治会では、平成22年4月、東浜地区自主防災会を結成し、活動を続けており、平成23年のコミュニティ助成事業に防災資機材などの助成を申請したところ、地道な活動が認められ、財団法人自治総合センターから助成金190万円が交付され、その資金で防災設備を整備しました。防災活動については、3.11東日本大震災以降、地域防災組織が注目され、NHKでも取り上げられました。

主な活動と課題

私たちの主な活動としては、登校時の交通安全指導、下校時・夜間の見回りパトロール、環境美化活動などがあります。登校時の交通安全指導については、小学生の登下校見守り活動として、登下校時間である午前7時～8時ころまで、通学路付近の交差点で交通安全指導を実施しています。東浜区は新しい街であるため、メインストリートに信号も設置されていませんでした。人口増加と企業進出とともに車両の往来も増え、非常に危険な中、交通安全指導は極めて重要な活動でした。信号機設置に

地元企業の支援



防災活動への取り組み



登校時の交通安全指導

登校時の交差点の状況



信号点灯式の状況

向けて、要請活動も並行して進めており、今年の4月、待ち望んだ信号機が設置されました。下校時・夜間の見回りパトロールは、午後3時～5時ころの下校時間帯の子どもたちの安全パトロールを行っています。午後7時～9時までの間のパトロールは、徒歩や2台の青色回転灯装備車両を活用し、町内の防犯パトロールを行い、隊員各自は日報を作成しています。

日報の内容は、日時、天気、パトロール開始と終了時間、移動距離、出来事などです。防犯パトロールを行っている公園の周りや川沿いは真っ暗闇で、パトロールを続けることによって少年たちのたむろがなくなりました。ポイ捨ても少なくなっています。

美化活動については、私たちは地域の環境基盤整備にも力を入れており、毎月第1日曜日の午前8時から町内の清掃活動を行っているほか、毎朝6時には公園のトイレ清掃を行っています。地域を常にきれいにすることは、犯罪抑止力につながると考えています。

その他の活動としては、交通安全週間における街頭活動への参加、地域小学生に対する防犯ベル 300 個の配布などがあります。

これらの活動を評価していただき、平成 21 年2月、平成 24 年1月には、地元与那原警察署長から防犯功労の感謝状を、平成 22 年には沖縄県知事から「ちゅうちなー安全なまちづくり表彰」の感謝状を頂戴し、私たち活動の励みになっています。

ボランティア活動は、若い世代をいかに指導・育成するかが課題になっています。

若い世代が協力的であるということは強みであり、今後もさらに若い世代の参加促進を図って、よりよい活動を推進していきたいと考えています。

これからご覧いただくのは、沖縄県の広報番組「うまんちゅひろば」で紹介された自主防犯パトロールの映像です。「うまんちゅひろば」は、沖縄テレビ、琉球放送、琉球朝日放送の3局で放送されている沖縄県の県政広報番組です。

<動画再生>

以上で与那原町東浜自治会防犯パトロール隊の発表を終わります。



質疑応答

●質問 もしかすると、どこの団体も抱えている問題かもしれませんが、若い方の参加がなかなか進んでいないという団体がある中で、東浜自治会では若い方々も大変積極的に参加していただいているということですが、その秘訣は何かありますか。

○回答 現役世代の会員を増やす方法としては、東浜地区は新興住宅地であり、地区の住民の平均年齢が比較的若く、同世代も多いため、若い会員が同世代の地域住民の東浜自治会への入会への

声かけをしています。また、地域のお祭りや清掃活動を通じて、お互いに顔見知りになり、参加の声かけをすることも多いです。問題点として、我々の隊員は 30 名ですが、やはり若い世代はサラリーマン世帯が多く、どうしても子育てをしながらするものですから、そういう中で防犯パトロールをする時間帯がバラバラになってきます。そこで私たちは、パトロール日誌をつけることで、例えば、あの方はパトロールに回ったのか、またその時間帯、距離、どのあたりをパトロールしたなど、特記事項によっては、公園でたむろがあつて声かけをしたということを引き継ぎ、地域の情報を各自が共有することによって、活動に対する責任感や連帯感が増し、活動を継続することができるのだと思います。